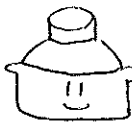


# 風の便り



2002年にOPENして、  
今年で15年目に入りました！  
2016年2月上旬号



森脩火焼  
16%引きセール中！  
2/13(土)まで

発行元 オーガニックマートよこい

住所 鎌倉市手広2-25-8 マリオンハウス1F

tel 0467-38-1337 faxフリーダイヤル 0120-4513-55

(メールアドレス) よこいさん ogm-4513@plum.plala.or.jp



ブログ

にて日々の情報公開中！

## 祝！14周年

### 皆様に心より感謝申し上げます。

#### 今年で開店14周年を迎えます

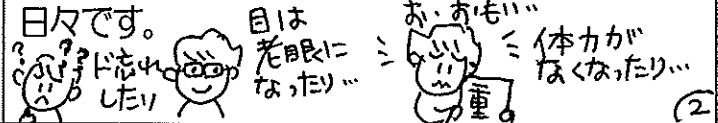
あっという間の14年でした。  
当店をご利用下さっている皆様のおかげです。  
本当にありがとうございます。スタッフ一同  
心より感謝申し上げます。

2002年2月に  
オーガニックマートよこい  
OPEN

あ、というまに14年  
たちました!!

#### あの頃は14歳若かった...

バリバリの30歳代40歳だった私たちも...  
14年分歳をとりました。一番若いスタッフの  
山田も今や2児の父、すっかりオヤジとなりました(〇)頭の回転も遅くなり、皆様にご迷惑  
をおかけすることも少し増えてしまい、反省の  
日々です。



#### 変わったものと変わらないもの

長年お世話になっている農家のみなさんも  
ご高齢になりました。それでも変わらず安全で  
おいしい野菜作りを続けてくださっています。  
新しい農家さんとのお付き合いも少しずつ増  
えてきました。



#### より安心をお届けできるよう...

オーガニックマートよこいが安全な商品を販  
売できるのも、それらを作ってくさっている  
農家さん、メーカーさん、酪農家さんたちがい  
るからこそです。日々の感謝を忘れず、これか  
ら安全と安心をお届けしてまいります。  
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様に心より感謝申し上げます。  
めざせ 祝100周年!!

2月は開店記念ということで、いつもより割引率を大きく、よりお得に  
人気の商品をセールしております。どうぞセールチラシもお見逃しなく!

Thank you very very very much

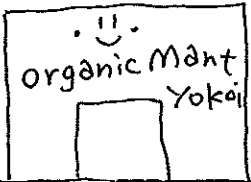
オーガニックマートよこいも開店15年目を迎えました。

これもひとえに皆様のご愛顧のおかげです。

スタッフ一同心より感謝申し上げます。

2002年2月、鎌倉・手広に店を構えて早いもので14年が経ちました。繰り返しになりますが、これもひとえに皆様のご愛顧のおかげ、皆様にご利用いただければ今日という日は迎えられませんでした。スタッフ一同、心より感謝申し上げます。本当に感謝の一言です。

2002年2月 OPEN



皆様のおかげです。

ありがとうございます  
ございます!



オーガニックマートよこいとして開店する前は大船で同じ仕事をしていたのですが、14年前に独立をしました。以前の店以来お付き合い・ご愛顧頂いているお客様も多く、古い方ですと20年以上ご愛顧を頂いています。人で表しますと、生まれて成人を過ぎる年月、振り返ると長いですね〜!

他にライバル店数多くある中、吹けば飛ぶような弱小店とお付き合い、ご愛顧頂いている皆様、本当にありがとうございます。これからも一生懸命努めて参りますのでどうぞ今後とも末永く、よろしくお願い申し上げます。

これからも  
どうぞよろしくお願  
い申し上げます!



大混乱の  
米不足馬騒動が  
ありましたねー...



♪ふけーば飛ぶようなお米の粒に・かけーた命を笑わば笑え〜♪(昭和の名曲、わかるかな〜) 急に文の調子が変わりましたが、横井はこの仕事に就いて約25年経ちましたが、大きく印象に残っていることがあります。忘れていても多いかもしれませんが、【平成の米騒動】と呼ばれた平成5年の米不足、大混乱でした。

平成5年の天候不順によって、日本国内で栽培されていたコメの記録的な生育不良・米不足で起きた大混乱でした。この年は梅雨前線が日本に長い間停滞し、沖縄以外の地域には「梅雨明け宣言がされない」という年で、長雨と日照不足のため米の生育が悪く、日本全国の作況指数は「著しい不良」の水準となる90を大きく下回る74となりました。

このときから  
タイ米など  
輸入米も増え  
ました...



日本にはたくさん  
田んぼがあるのに  
減反政策で



東北地方ではそれを更に下回り、東北全体の作況指数は56でした。店頭から米が消え、米を確保するために必死のパッチでした。皆さんご存知の通り、それまでは米余りが続き、米の生産調整、減反政策をしていた国が、たったというかわずかというか、一年限りの不作で大パニックになりました。あらゆる意味で米(米国ではありません、念のため)は日本人の命・食文化・文化の象徴かもしれません。

改めて米の大事さ・米文化の大切と、いざという時に米を手配できない無力さを感じ、農薬や化学肥料を使わずに米を栽培する生産者と連携をし、安定供給をめざし「米米クラブ」を作りました。当時は農薬や化学肥料を使わず米を栽培する、という事は地域で孤立する恐れもありましたが、何とか今日まで続いています。

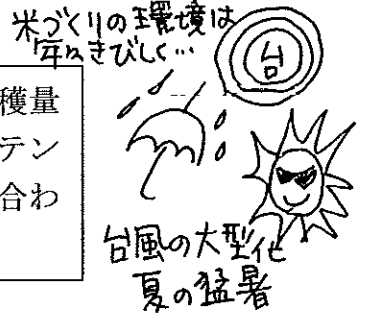
当店のオリジナル  
米チキレット  
米米倶楽部の誕生!  
ハイプライン  
米農家さんとお客様を直接つなぐ  
ハイプラインを作らねば!



食べ物は食べる人、作る人のどちらの力も必要です。何とかその仲立ちが出来ればとオーガニックマートよこいは考えています。農薬・化学肥料に頼らず、汗水たらし、苦勞して栽培した米も食べる人がいなければ、また、食べる人が安全性を求めても、作ってくれる人がいなければ手に入られません。どちらかの一方通行では物事がうまく進みません。



米を農薬や化学肥料を使わず栽培しますと虫や病気の被害で、米の収穫量は落ち、米粒は粒が不ぞろいで、斑点米などが交ります。それをガッテン承知の助と、快く受け入れて頂ければなりません。お互いの波長が合わなければ作る方も食べる方もなかなか難しい事となります。



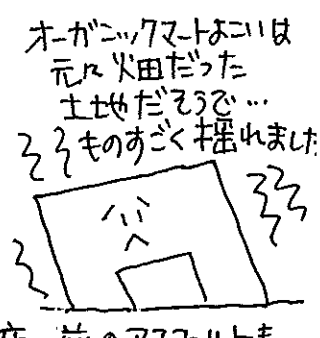
農家さんの高齡化は本当に深刻です...

そんな・こんなで平成6年から始めた米米クラブももう20年以上になります。その間に米不足による米騒動はありませんでしたが、米米クラブの米を作っている朝広さん、焼田さんも高齡になり、先行きに少し不安を感じています。農業の高齡化は深刻な問題です!

よこいのピンチも

震災のあとに知った事実 →

もう一つ大きく心に残ることは平成23年3月11日に起きた、東日本大震災です。鎌倉も大きく揺れ、店がつぶれる...という恐怖に襲われました。東北に友人や知り合いの方もいたので本当に心配でした。その後、ボランティア活動で被災地を訪れたのですが、その姿には言葉がありませんでした。自然災害を目のあたりにし、その恐ろしさを痛感しました。



今でも当店では放射能検査をした商品も求めて頂く方がおみえになります。

東日本大震災での地震・津波の被害も甚大でしたが、忘れてはいけない事があります。福島第一原子力発電所での事故です。それまでは原子力発電所は『安全神話』があり、多くの方が安全なもの、電力に欠かせないものとの認識をお持ちだったのではと思います。が、3.11以来、その認識は一変し、放射能の恐ろしさを改めて感じたのではないのでしょうか。

店の前のアスファルトもヒビが入った!?!

地震・津波は田畑を直撃、言葉を失う被害となりましたが、まだまだ復興半ばですが、田畑も修復され、被災前とは言えないかもしれませんが、今では多くの農作物が収穫されています。人の力は偉大ですね。But皆の衆、福島原発の問題はいまだに解決していません。忘れてはいけません。福島原発の事故により未だに多くの人々が苦しんでいます。

日本中の方が思っているようですが... 3.11以降 日本は大きく変わりました...

また、福島原発事故による放射能汚染は人々に大きな不安を与えてばかりでなく、農作物にも大きな被害と影響を与えました。福島の方のみならず、地震や津波の直接被害でなく、放射能汚染の影響で関東在住のかなりの方も放射能汚染から逃れるべく移住しました。

身土不ニ  
地産地消が  
簡単では  
なくなった...

### 農薬 化学肥料を戻す

ただでは  
だめになりました

よこいでは地場の農薬や化学肥料を使わないで栽培した野菜などを取り扱っていますが、やはり多くの方が放射能汚染への影響で地場の野菜を敬遠されました。実際に放射能が検出されたわけではありませんが、やはり不安、という、心の問題はなかなか払拭が難しいです。

今までの農薬や化学肥料への不安から、放射能という大きな不安を生じました。生産者の意志で農薬や化学肥料の使用は管理できますが、放射能は生産者の手に負えません。天から降ってわいた災難という言葉が...しかし原発による放射能汚染は天から降ってわいた災難でもなく、自然にできたものではありません。人が快適で便利な生活を追求したことから生まれたものです。

農家さんち  
被害者  
なのですが  
  
いつのまにか加害者  
の扱いに...

安全だけでなく  
安心もお届けできなく  
自然食屋ではない!

お客様の数も極端に減り、正直・横井はこの時大ピンチになりました。一時は店の経営が危険で危ないのダブルパンチで、ほんとやばかった！しかし天は我を見捨てず...いや、皆さんの温かい心づかいで何とかピンチを乗り切りました。今日あるのは皆様の温かい心のおかげです。

農作物の放射能汚染への懸念から、今も放射能検査区域に限らず地場野菜や米などの放射能検査をし、不検出の物だけを取り扱っています。放射能不検出といっても、問題になるのが放射能の検出限界値です。例えば100Bqや50Bq/kgで検査を行い、不検出値言っても、検出限界値のレベルが高いというか低いというか、もっと少ない数値でなければ安心にはつながらないと思います。

低い数値で  
検査して  
安心を  
お届けしたい!!

国の基準が  
甘すぎるから  
消費者の皆様は  
不安がつのりばかり

10~30・40Bq/kgの放射能が含まれていても検出限界50・100Bq/kgでは検出が難しく、不検出となってしまいます。よこいでは農作物は2Bq/kg、一般食品では3Bq/kgの検出限界値で不検出の物を取り扱っています。安全性が確保されての安心感。安心という心の平和にこたえるべく、しっかりとした検査をやっています。(宣伝で〜す♪)

ミーさん  
倉庫社さんなど  
メーカーさんもきちんと取り組んでいるの心本当に助かっています!

阪神淡路大震災や中越震災など、まだ心に残ることは数々ありますが...何はともあれ、これからも皆様のお役にたてるように、スタッフ一同、心新たに、心を込めこれからも努めて参ります。皆様これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

もう14年  
まだまだ14年  
これから  
がんばります。  
ごきげんよう  
お願ひ  
申し上げます!